

2019年度の年間の活動

1. ブラブラ実行委員会（2月2日）

ブラブラを普段に発展させる意図を含めて会の名称を「ブラブラ実行委員会」とし、報告（事業・会計）と今後の進め方を検討しました。

普段への発展として、月1回のブラッとカフェの普及とブラブラベンチの設置を決め、町内会会員のブラブラまつり等に対する意見を収集するため、町内会と協力してアンケートの実施を検討することとしました。

2. 押沢台北ブラブラまつりの実施

1) 実行委員会の開催（6月29日）

ブラブラまつり実施の検討を行いました。まつりに照準を合わせ、ブラブラベンチを設置することと、前回同様に花のあるブラブラまつりを目指すこととしました。以下のような小さな改善提案もありました。

- ・店側スタッフ全員にネームプレートを配布する
- ・ムードを盛り上げるための事前のお知らせ看板を作成する
- ・くじ券の利用が低く、デザインを分かりやすくする 等

2) ブラブラまつりの実施（10月13日）

12日に予定していたが、台風のため翌日に延期。そのために2店舗減で開催。それでも過去最高の36店舗。若い人の新規の参加も多くありました。前回より「花のあるブラブラまつり」として、花苗を配布していますが、今回はまつりに向けて町内にベンチを設置し、「ベンチのあるまち」を目指しました。実施を前提とした周辺からの視察も多く、隣接市が手配した市のバス2台で50人の視察のケースもありました。



3) 報告会 (10月27日)

店を出す家は当日忙しくブラブラすることも出来ないため、2週間後に報告会を行い情報交換をしています。記録係が撮影した写真を見ながら、各店の様子を当人が報告する形式で、ここで出店者は初めて他の店の様子を知り、来年のことを考えます。



3. ブラっとカフェの実施

「ブラブラまつりをもっと」から始まったブラっとカフェ。カフェの目的はまちの居場所づくりで、毎月第2土曜日の12:00からとしています。多い月で7軒、少ない月でも2軒がカフェをオープンしています。客はそんなに多くありませんが、地域の居場所として少しずつ定着しつつあります。



4. ブラブラまつりの広報活動

受賞を期に視察や広報の機会は増えました。

4月13日

まちネット運営委員会視察受入 (ブラっとカフェ)

7月7日

コミュニティ政策学会 (犬山) ラウンドテーブルにて話題提供

9月20日

愛知県海部地区の社会教育関連合同研修会にて講演

10月13日 (まつり当日)

岐阜県多治見市、可児市の市民団体視察受入

多治見市滝呂地域力向上実行委員会 (約50名+市職員)

可児市可児市まちづくり団地交流会 (光陽台、愛岐ヶ丘、若葉台等)

12月14日 (ブラっとカフェ)

豊中市永楽荘桜自治会26人が視察

2月3日

可児市光陽台 (5月30日実施予定) にて説明

2月15日

多治見市滝呂台 (5月16日に実施予定) にて説明



5. 冊子・ホームページ作成チームの始動

まつりを普及させるためのツールとしての冊子とホームページ作成チームを立ち上げ、資料の収集、ブラブラまつりの写真撮影、デザインの検討を始めました。冊子、ホームページ共に、出来るだけおしゃれなものとしたい。

6. ブラブラを普段に コミュニティガーデンとベンチの設置

年1回のブラブラまつりを、月1回のブラっとカフェに発展させ、最終目的とする普段への展開として、常に存在するコミュニティガーデンとベンチの設置を行いました。

■コミュニティガーデン 市が管理する上水道施設の閉鎖されていた駐車場を開放してもらい、ブラブラ実行委員会で維持管理をするコミュニティガーデンとしました。

■ブラブラベンチ ブラブラして疲れたら休めるように、バス停と坂道の途中に、ブラブラベンチを設置。



コミュニティガーデン



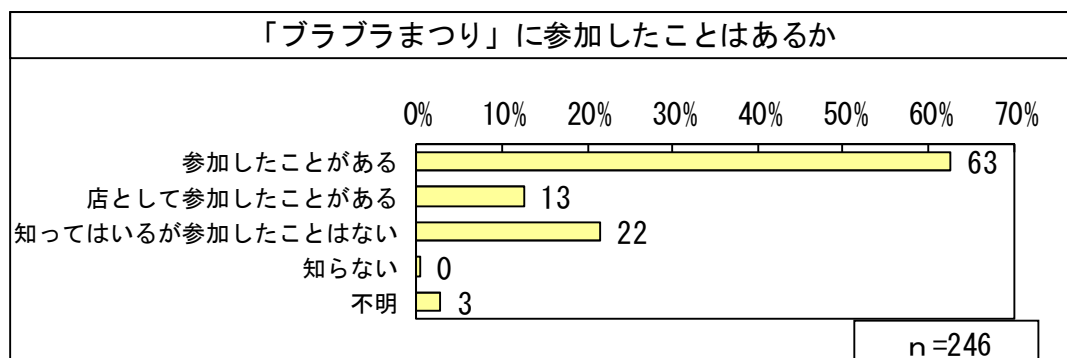
ブラブラベンチ

7. アンケートの実施

町内会と協力して、「押沢台のこれからを考えるアンケート」を実施。調査・分析は中部大学の豊田研究室に依頼。回収数 246 票、回収率 76.9%。

順次、調査結果を町内会にフィードバックしています。

- ・ブラブラまつりについては、町内会の会員の 76%が参加している結果となっている。
- ・ブラっとカフェについては、まだまだ知られていない現状である。



受賞を契機に新たに取り組んでいること

1. ブラブラまつりの充実 家先を飾る

各店に花苗を配布し、「花のあるブラブラまつり」を目指しました。花苗は宿根草・多年草を主体として、それぞれの家に根付き、普段にもつながるよう考えました。

2. 普段への発展 ブラっとカフェの充実・コミュニティガーデンとベンチの設置

ブラっとカフェは一昨年度から行っていますが、まだまだ知名度が低く、訪れる人は限られています。ブラブラまつりでブラブラするのに比べて敷居も高く、入りやすくする工夫が必要となっています。一人住まいの高齢者など、来てほしい人に招待状を出すなどの工夫をしています。

3. 普及のための冊子発行への準備

まつりを普及させるためのツールとしての冊子作成スタッフを立ち上げ、資料の収集、ブラブラまつりの写真撮影、デザインの検討を始めました。冊子は出来るだけおしゃれなものを考えています。

4. 普及のための広報、交流活動

年間活動の4ブラブラまつりの広報活動に示すような、広報・交流活動を行いました。

調査検討費の使途

- ブラブラまつりの充実
備品、花苗購入、マップ作成、実行委員会・報告会の開催
- ブラっとカフェの充実
備品購入、カレンダー・通信（毎月）の発行
- ブラブラまつり広報活動
他団体との交流、講演会・報告会への参加
- 冊子作成準備
まつりの記録、編集会議、参考資料収集、
- アンケートの実施
アンケート作成、集計・分析委託
- コミュニティガーデン・ブラブラベンチの設置
ベンチの購入

近い将来取り組まなければならない課題

このまつりの目指すところは、人々の交流が普段になることです。まつりはそのきっかけとしての、年一回のイベントです。たった年一回のイベントですが、家を開いて地域のために自分の得意なことで振舞う行為は、協力者の意識の中に、大きな変化を起こしているようです。そして、それが普段につながっていくように考えています。

このような意識の変化が、より多くの人たちに伝染するよう、更なる工夫が今後の課題といえます。またこのようなまつりを、より多くの地域に広まるよう、働きかけを行うことも必要と考えます。

報告会でのもう一回やりたいという意見をきっかけに、一昨年度から毎月のブラっとカフェがスタートしました。まだまだ、地域での知名度も低く、本当に地域に必要とされているのか、あり方を含めよく考えねばなりません。

また、更なる普段を目指して、地域内にコミュニティガーデンを整備し、バス停2か所、歩道上2か所の合計5か所にベンチを設置しました。小中学生の利用がよく見受けられます。また、使用されなくなった個人宅の駐車場にもベンチを設置しましたが、個人宅のベンチは利用に抵抗があるようです。ブラっとカフェを含めて、他人の領域内に入るといった抵抗感があり、意識を変えていく雰囲気づくりが必要となっています。